平成23年(2011年)

### 夏号

# 大津・南部の農業

#### 発 行

滋賀県大津·南部農業農村振興事務所農産普及課草津市草津三丁目14-75 TEL 077-567-5421~5423 FAX 077-562-8144

メールアドレス ga35@pref.shiga.lg.jp 発行責任者 古谷 博幸

この印刷物は古紙パルプを配合しています





上の写真は、藤田真吾さん(29才)。栗東市目川にある約50 a のビニールハウスで、コマツナやホウレンソウを栽培しておられます。藤田さんは大阪で会社づとめをされていましたが、農業に関心があり、栗東市の野菜生産者のもとで技術や経営の研修を受けた後、昨年8月に就農されました。現在は滋賀有機ネットワークの生産者の一員として、生協向けに周年出荷されています。

藤田さんは、「就農してみて、病害虫や雑草、ほ場の排水対策など予想以上に大変でしたが、自分のアイデアが活かせるところが農業の魅力です。今後は出荷量・品質ともに安定した生産を目指したいです」と話され、今後ますますの活躍が期待されます。



#### (1面からつづく)

写真は野洲市三宅の北中良幸さん。北中さんは大学で園芸の基礎を学んだ後、愛知県の種苗会社で3年間、現場指導を通じ技術と経営の実際を学ばれました。

平成21年にUターンして、ハウス3棟(1,760㎡)で、半促成と抑制栽培のきゅうりの専作経営を始められました。

北中さんは、きゅうり作一年を振り返り、他産地との単価 差の解消や経営目標の据え方など多くの課題を発見され、今 後改善されようとしています。

今年は更にハウスを増設して、収益力を高める計画です。

また、現在は市場出荷がほとんどですが、「地産地消」も重要と考えて、学校給食などにも 供給していきたいと考えておられます。

### 求められています、滋賀県産野菜!

~水田野菜生産拡大推進事業のお知らせ~

県では、県内の野菜の生産が全国都道府県別順で45位と少なく、一方で水田の有効活用が課題であることから、昨年度に引き続き野菜生産の拡大を推進するため、各市を通じて「しがの水田野菜生産拡大推進事業」を実施します。

水田で、一定面積以上の野菜を販売用に生産した場合、10a当たり3万円以内、昨年度この事業で拡大した野菜生産を継続する取組に対して10a当たり1万円以内を助成します。



昨年県全体では、ほとんどがキャベツ、大かぶ、かぼちゃ、タマネギ、はくさいなどの露地野菜で拡大されました。(※事業の詳細については市役所または当課にお問い合わせ下さい)

### エコファーマーの皆様へ

―認定期間の終了と再認定について―

- ① エコファーマーの認定期間は5年間です。例えば、平成19年に認定された方は、平成24年3月31日までが有効期間です。
- ② 今と同じ作物・作型で引き続き認定を受けられる方は、認定期間が終了する前に再認定の申請手続きが必要です。
- ③ 更新申請に必要な書類や要件は、当課までお問い合わせください。
- ④ なお、エコファーマーマークの使用は、平成23年3月末で停止されましたが、 在庫の使用に限り、平成24年3月末まで認められています。
  - ※現在、エコファーマーマークの商標権は全国農業協同組合中央会が所有しています。

## 「はなふじ米」カーボンフットプリント※表示開始

JAレーク大津は、マメ科の1年草「ヘアリーベッチ」を緑肥として、本田で肥料を使わずに栽培したコシヒカリを「はなふじ米」という名称で販売しています。

昨年度にJAレーク大津と当課は、立命館大学の協力を得て「はなふじ米」の温室効果ガス排出量を試算しました。その結果「はなふじ米」は、同じ生産者の緑肥を使わない環境こだわり米に比べて、温室効果ガス排出量が28%少ないと算出され、検証機関の審査で表示を認められました。

この「はなふじ米」は、現在JAレーク 大津グリーンファーム石山店で販売されて います。



#### ※カーボンフットプリントとは

製品が作られてから使われ、捨てられるまでに排出された温室効果ガス排出量を合算しそれをCO<sub>2</sub>排出量に換算して表示したものです。

### 湛水管理と十づくりで安全・安心なお米を作ろう

~米のカドミウム基準が変わりました!~

玄米中のカドミウムの規格基準が、今年の2月28日より1.0ppm未満から0.4ppm以下に改正されました。0.4ppmを超える米は、食用として販売が禁止され、生産者は、廃棄などの処分が必要になります。

カドミウムは、土壌中に天然に存在する重金属ですので、必ず以下のカドミウム吸収抑制対策を実施しましょう。



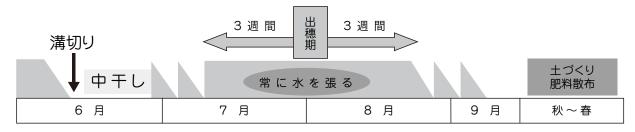
### 出穂前後の各3週間、田んぼに水を張りましょう

出穂前後の各3週間湛水することによって、稲のカドミウム吸収を大幅に抑えることができます。



### 土づくり肥料を散布しましょう

土づくり肥料(アルカリ資材)の散布は、カドミウムの吸収低減に効果があります。



# GAPに取り組んで~野洲愛郷米生産組合~

野洲愛郷米牛産組合(H6年~)は、現在組合員22人、面積77haの組織です。

いち早く環境こだわり米栽培に取り組まれましたが、さらに安全・安心をアピールすることなどを目的に一昨年末、県内初となるJGAP(日本版農業生産工程管理)の団体認証を取得されました。

認証取得から一年半がたち、組合長の青木さんは、生産面では、これまで意識してこなかった燃料や農薬の保管方法が改善できたこと、販売面では、JGAP認証により、新しい販売先もでき、手応えをつかみつつあると評価されています。

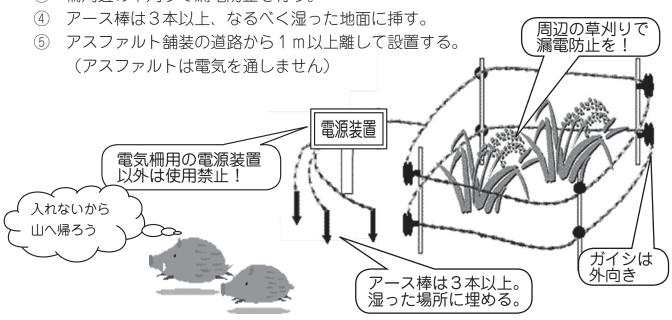


県では、こうした取組を広げるため、「県版GAP」を作成し、推進をしています。

# ひと目で分かる獣害対策~電気柵設置のポイント~

シカやイノシシなどの獣害が深刻な水田やでは、秋の収穫に向けて電気柵を設置される ことが多くなります。電気柵の設置にあたっては、以下の点に注意して設置してください。

- ① 電気柵の電源装置は電気柵用のものを使用してください。家庭用の100 V 電源やバッテリーの直結は感電事故を起こすので、絶対に避けること。(法律違反です!)
- ② ガイシは外向きにすること。(内向きだと獣が柵線にふれずにポールを倒します)
- ③ 柵周辺の草刈りで漏電防止を行う。



「大津・南部の農業」は農産普及課ホームページでもご覧になれます。http://www.pref.shiga.jp/kusatsu-pbo/nogyo/index.html